

164. 昭和63年度滋賀県下に おける発掘調査の紹介 その3

13. 奈良～平安時代の集落

安土町東老蘇 老蘇遺跡

農作物保存用倉庫建設に伴う事前調査。調査面積1600㎡、期間は昭和63年10月～12月である。当遺跡は以前「立宿遺跡」と呼ばれており、過去2回の調査で古墳時代の竪穴住居跡、奈良～平安時代の建物が検出されており、旧中仙道関連の集落跡と推定されている。

今回の調査で検出された主な遺構は、奈良時代の竪穴住居跡6棟、奈良時代の掘立柱建物2棟、それ以降と推定される掘立柱建物3棟である。竪穴住居跡はいずれも一辺4～5mの隅丸方形（長方形）のプランを有し、3棟の床面に焼土痕が認められた。掘形内に主柱穴を4つもつもの、皆無のもの、掘形周辺で8～10個柱穴をもつものと、3つのタイプがある。奈良時代の掘立柱建物は2間×2間（総柱、柱間220～240cm）と2間×3間（柱間200cm）以上である。各柱穴掘形は直径80～100cm、深さ50～100cmを測り、直径30～40cmの柱痕が検出されている。その他の建物は2間×3間、3間×4間で、柱穴掘形径は30～50cmと比較的小規模である。出土遺物がなく時期等は不明であるが、1棟は奈良時代の竪穴を切る。

今回の調査で検出した奈良時代と推定される建物は、過去検出された建物と方位がほぼ同一であり、旧街道（中仙道）に沿って広がる集落で、さらに東西に遺跡は延びると推定される。

（安土町教育委員会 西家 淳朗）

14. 清水駅家と堂田遺跡

神崎郡五個荘町 堂田遺跡

平安時代前期に成立した『延喜式』卷二八・兵部省諸国駅伝馬条によると、近江国の東山道沿いの勢多・岡田・篠原・清水・鳥籠・横川に駅家が設置されたことが知れる。駅家については、『令義解』卷八・厩牧令には「凡諸道須置駅者。每卅里置一駅。若地勢阻險。及無水草処。隨便安置。不限里数。其乗具及蓑笠等。



第3次調査区

各准所置馬数備之」といった記載がある。駅家の官司には「凡駅、各駅置長一人、取駅戸内家口富幹事者為之。一置以後。悉令長仕。」と見える。この駅伝馬制の成立については、主に、欽明朝頃に発生し大化改新詔で駅馬伝馬の二重構造として公布されたとする説と、浄御原令によって成立したと見る説があるが、もとより、考古学的検証が十分に進んでいるとはいえない。

さて、『倭名抄』に見る神崎郡には、六郷一駅の所在が知れるが、駅家郷の所在地については、足利健亮氏による五個荘町清水鼻集落を中心とする案が提示される以外、有力な説はない。

今回、ここに報告する堂田遺跡は、神崎郡五個荘町大字石塚に所在する。東山道は、蒲生郡条里に沿って北上し、郡界たる狭々城山（観音寺山）と箕作山の山間に位置する大字清水鼻地先を抜け、更に神崎郡家たる大郡遺跡の南面で屈曲して、神崎郡条里に沿って北進する。この堂田遺跡は、東山道に面して清水鼻地先と大郡遺跡との中間にある。

堂田遺跡における調査は、昭和57・58年に次いで3次目となり、先年の調査で検出している掘立柱建物群の西側60mの地点で、新たに2間×2間・3間×3間・3間×4間など合計4棟の総柱構造を取る建物跡を検出した。これらの建物群の時期は、柱穴埋土出土の土器より見て、7C中葉～8C後葉とできよう。これらの建物群は、今だ点的な調査であるため相互の関係等については、必ずしも明確ではないが、建物規模や配置状況などから官衙の色採の濃いものと考えられる。

すなわち、堂田遺跡の北東200mに位置する大郡遺

跡の一带は、郡家所在地を郡名郷とする一般的傾向に従うと神崎郷となり、駅家郷が堂田遺跡を中心とした一带以外に比定地がなく、加えてこの一带でも、東山道沿いの部分では大半に沼沢地が広がり、堂田遺跡を除いて有力な律令期の遺跡が見当たらない点から、同遺跡が清水駅家である蓋然性は高いと言えよう。反面、検出建物の大半が倉跡であり、郡家に伴う正倉とも見られるなど、現状の評価が消去法による検討結果であるなど、不安定要素も内在するが、あえて郡家と駅家が東山道沿いに並置されていた可能性を指摘したい。

(五個荘町教育委員会 林 純)

15. 平野部で新たに古墳群を検出

米原町上多良 大乾古墳群

米原町教育委員会では昭和63年8月より10月まで、一般国道8号(米原バイパス)路線内の試掘調査を実施した。調査の結果、大字上多良で従来知られていなかった群集墳を新たに発見した。この群集墳は小字名より大乾古墳群と命名した。今回の調査は遺構の範囲確認が目的であり、遺構の調査は翌年度以降とした。ただし1号墳の周濠からは検出面で多量に埴輪片が出土したため、1号墳のみ遺構の調査を実施した。

周濠は調査区外にも広がっており、前方後円墳の可能性も残るが、現状では円墳としておく。周濠を含めて直径22mを測り、封土は既に残存しておらず、主体部も不明である。周濠の幅は2.5~3.0mを測り、検出面から底部までの深さは0.5mを測る。耕土直下が遺構検出面であり、耕土中に埴輪片や奈良時代の須恵器が含まれていることから、周濠もかなり掘削を受けているものと考えられる。

周濠内からは、円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴輪、須恵器、土師器などがほぼ全域から出土している。埴輪に関しては全体を復原しようものはない。形象埴輪も同様に破片ばかりで、馬、人物の2点を除くと不明なものばかりであった。須恵器は有蓋高坏、蓋、坏身



大乾1号墳全景

壺、甕などがあり、おおよそ5世紀末から6世紀初頭のものと考えられる。これら以外に周濠内の4地点より馬下頸が出土しており、古墳祭祀に伴うものとして注目できる。

今回の調査で新たに発見された大乾古墳群は天野川以南の平野部では初めての古墳となった。周辺には本願寺遺跡、中多良遺跡など同時代の集落が集中しており、両者の関係も注目される。

(米原町教育委員会 中井 均)

16. 新羅系獣面文軒丸瓦を出土

長浜市東上坂町 柿田遺跡

県道中山~東上坂線道路改良事業に伴う発掘調査で昭和62年度に続く第3次調査である。調査面積約2400㎡で昭和62年度の調査で検出した竪穴式住居跡と合せて総数87棟を検出した。住居の時期は古墳時代前期初頭から7世紀第4四半期までで、特に7世紀第4四半期の住居2棟から暗文が施された土師器盤、杯、皿、須恵器甕、杯、平瓶の他に円面硯が2点出土した。また造り付け竈の焚き口の袖部に丸瓦や平瓦を立てて補強しているものがあつた。

これらの遺物以外に、今回遺構面上より県内では唯一、全国的にも類例の少ない獣面(鬼面)文軒丸瓦が2点出土した。うち1点は瓦当部が完全な形で遺存するもので、外区に三重圏線を巡らせ、内区いっぱい大きく口を開く新羅系の獣面を半肉彫りふうに表わす。獣面文軒丸瓦の出土は全国で18例を数えるが、今回出土の瓦と同じ獣面のものは、奈良県北葛城郡新庄町の地光寺と平城宮大官大寺跡出土の2箇所のみである。当遺跡出土の瓦は地光寺のものに比べるとやや彫りが浅い点、口がやや大きく牙が非常に長い点、鼻の表現が簡略化されている点があげられ地光寺よりやや時代が下るとみられる。前述の住居内出土の瓦や土器等を考慮すると7世紀第4四半期頃のものと考えられ、円面



獣面(鬼面)文軒丸瓦

硯等の出土からみて周辺に7世紀末から8世紀初頭にかけて建立された寺院遺構の存在が推定される。今回の当該期の竪穴式住居は、この寺院建立にかかわる住人のものと深くかかるものとみられ、今後新羅系獣面文瓦を葺く寺院の存在と合せて当地域の古代史を検討する新たな資料となるとみられる。

(新潟県文化財保護協会 仲川 靖)

17. 古墳時代後期後半～律令期の 掘立柱建物群

長浜市大茂亥 大茂亥遺跡

大茂亥地区土地区画整理に伴う大茂亥遺跡の第2次調査は、道路および宅地予定部分に7本のトレンチを設定して実施した。

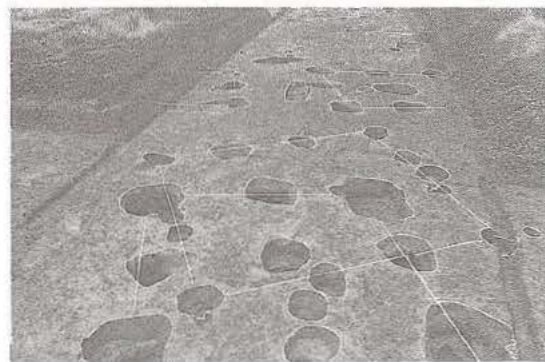
調査の結果、7世紀の溝S D 001・010・013の3本、7世紀と考えられる掘立柱建物2棟・8世紀の掘立柱建物4棟、8世紀以後かと考えられる掘立柱建物1棟を検出している。なお、配列の不明な柱穴が相当数あり7棟をこえる建物が存在することは確かである。また建物の配置から3期の変遷のあったことをうかがうことができる。

遺物は建物群から墨書のある須恵器、須恵器転用硯日常雑器としての須恵器・土師器が出土している。そのうち土師器の坏は赤焼きの暗文の入った美しいものが多い。

溝S D 001・010・013からは多量の7世紀の遺物が出土している。特にS D 010からは特殊な遺物が多く出土している。須恵器の坏に赤色顔料を用いて記号の画かれているものは注目される。須恵器は蓋坏が大半を占め、他に高坏・甕・壺・長頸壺・提瓶がある。土師器は坏・甕・壺からなり、他に土器では若狭のハマネII B式製塩土器がある。

金属製品には漆塗の刀子、同じく黒漆塗のバックル馬具の一部と考えられるものがある。

木製品にはツチノコ・ヌキ未製品・刀形・剣形木製品・齋串・横櫛・ゲタがある。これらの木製品は7世



掘立柱建物群 (北から)

紀前葉の遺物と共伴している。齋串・横櫛は滋賀県最古級のものであり注目される。

(長浜市教育委員会 古川 登)

18. 縄文時代中期の集落

長浜市大茂亥 高橋遺跡

大茂亥土地区画整理事業に伴う高橋遺跡の第2次調査は、道路および宅地予定部分に5本のトレンチを設定して実施した。

調査の結果、竪穴住居になるかと考えられる竪穴状の遺構2基・土壇5基・湿地跡を検出している。遺物は竪穴状遺構S×1から深鉢2以上と剥片が出土した。その他の遺構でも点数が少ないものの、深鉢片などがほとんどすべての遺構から出土している。また、湿地跡の堆積土中からも土器片等が出土しており、この湿地が縄文時代のものであることが確認された。

出土した遺物は土器と剥片および現在のところ用途の不明な礫である。土器は東海地方の特色を有するもので中期末に位置付けられる。

高橋遺跡における縄文時代の集落は、湿地に接して営まれていたことがうかがわれる。なお、土器の出土量が少ないこと、石器・剥片の出土量が少ないことから短期間の集落であったのだろうか。

(長浜市教育委員会 古川 登)



竪穴状遺構完掘状況

19. 縄文時代晩期から平安時代に至る 遺物多数出土

長浜市神照 川崎遺跡

川崎遺跡は今回の調査で第12次調査になる。調査は貸資材置場造成に伴う事前調査で、調査対象面積2,069㎡のうち約1,650㎡を調査した。

調査の結果、ピット11、土壇2、18条の自然水路を検出した。自然水路は南北方向にのびるものが10条、東西方向にのびるものが8条あり、いずれも縄文時代晩期から平安時代に至るまでの土器類、木製品等を含んでいた。土器片は砕かれたような細片が多く、一個



SR7 (中央) 南東から望む

体分の破片が1か所にかたままって出土したものは少ない。水路ごとに土器・木製品の出土量に大きな違いがあり、詰まった状態で土器が出土した水路もある。また、水路際に土器が集中してみられ、厚さ約15cmに積重なった土器片が幅約2m、長さ約20mにわたって帯状に出土した。水路の時期差は、時期の異なる遺物が混在して出土することや、切り合い関係が明確でないことからはっきりしない。

水路内の土器片は、角がとれてまろくなっているものはほとんどないことから、流れがゆるやかで、比較的近いところから流されてきたものと考えられる。水路は北から南、東から西へ流れており、北東方向から流されてきたものと考えられる。

自然遺物の中には、木の実、牛の骨などの他に、根元から切り取った痕跡のある鹿の角も出土している。

(長浜市教育委員会 丸山 雄二)

20. 縄文晩期の土器出土

長浜市口分田 口分田北遺跡

今回の調査は、団体営園場整備事業(口分田地区)に伴う事前調査である。調査対象面積は、6.8haで、その内調査したのは約3,000㎡である。

調査は、第3・4・5・6号支線排水路の予定地に幅2mのトレンチを設定し重機による掘削を遺構面まで行ない、それ以後人力によって遺構精査・遺物採取・記録図面の作成および写真撮影などの作業を行なった。

口分田北遺跡としては、第3回目の調査である。前回の調査において明確な遺構等は検出されていないが土器を含む包含層が第3層目に確認されている。

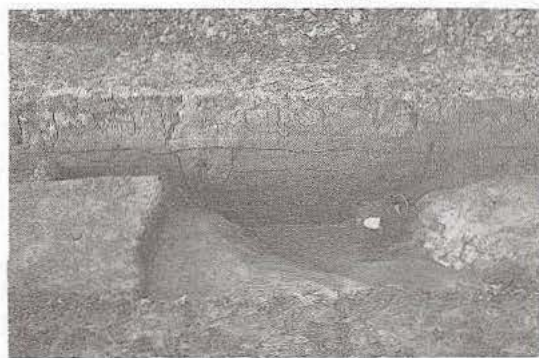
今回出土した最も古い遺物は、縄文時代晩期の縄文式土器で完型に近いものである。調査区を東西に延びる自然水路に合流させた溝状遺構(東西に延びる)中より出土している。舟形黒色磨研土器(浅鉢)・水神平式土器(深鉢)である。出土状況は、深鉢が横転した状態に浅鉢は深鉢に接する形で出土した。浅鉢と深

鉢には時期差がみられ、浅鉢の口線部に2穴穿かれてそこに樹脂で結んだ痕跡があり興味をひくものである。

この遺跡の主要時代は、平安時代前期から中期であり、東西南北に延びる溝状遺構と掘立柱を検出している。遺物は、緑釉陶器・土師器・須恵器が出土している。自然水路の上層においても同じ遺物が出土している。

調査区東に遺構の密度が高いことから、平成元年度に今調査区の東側を調査予定であるので成果が期待される。

(長浜市教育委員会 森口 訓男)



溝内の縄文式土器出土状況

草津市北萱遺跡の紹介

北萱遺跡は、草津市矢橋町南浜地先に位置する。瀬田丘陵より流れる北川が、浜街道(県道 彦根・近江八幡—大津線)と交差する地点から西に拡がる遺跡である。昭和57年度以来の新草津川河川改修工事に伴う発掘調査によって、縄文時代及び古墳時代の旧河道と平安時代の溝が検出されている。今回の調査は当遺跡の西端部分で行われた。当地はもと水田で、標高84.2mを測る。現在は兩岸を築堤された北川の放水路となり、水中に没している。今年度は新河川部分のセンターラインから南半分を鋼矢板で囲み、ポンプで排水して発掘調査が実施された。表土から約1m掘り下げたところで、厚さ約20cmの縄文時代晩期から古墳時代前期の土器・木器を多量に含む包含層を検出した。その直下には古墳時代前期初頭の溝1条と土壌5基が掘り込まれた第1遺構面が、またそれより約20cm下で時期不明の旧河道1条が掘り込まれた第2遺構面が検出されている。表土から第2遺構面直上までは砂とシルトの互相を呈しており、北川の運土量の凄まじさを物語っている。第2遺構面で検出された旧河道は、隣接部分の試掘でも検出されており、縄文時代晩期の遺物が出土していることからその時期に相当するものであろう。

(三宅 弘)